

リスク検診の導入で胃がんの検診率向上を

質問 胃がんは、ピロリ菌による感染症であることが分かっている。早期に治療できれば、生活の質を良い状況に保つ事が出来る時代になった。しかし、死亡者数は変化なく、罹患者数は第一位である。胃がんのリスク検診を行い、胃がんになり易いか否かリスク（危険度）を分類する検診を行う自治体が増えている。リスクがわかることで検診への意識付けにもなる。導入について検討すべきと考える。

市長 当市の受診率は16・2%と低い事から受診率の向上が課題である。発症リスクを知る上で有効な検診であると認識しているが、がん検診の実施指針の住民検診の位置づけになっていない。国の検診、他市の費用対効果



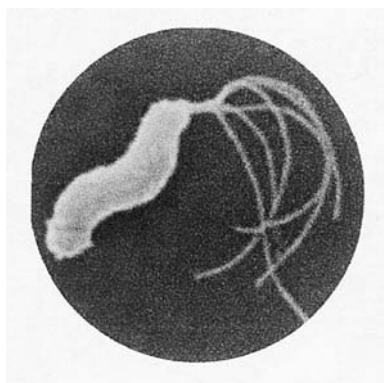
あべかよこ 阿部加代子 議員（公明党）

を含めた成果を見極め検討していく。

みなし寡婦（寡夫） 控除を

質問 平成25年12月の臨時国会で民法が改定され、結婚の有無に関係なく子どもの遺産相続分は平等になった。しかし、所得税法では寡婦又は寡夫である場合、所得金額から27万円を控除するとの定めがある。同じ一人親でも結婚歴が無い場合は対象とならず寡婦（寡夫）控除が適応されない。控除が適用されないと納税額が多くなり税額に応じて負担する保育料等の料金が高くなる不合理が起こっている。寡婦（寡夫）みなし適用を導入すべきと考える。

市長 県内でも花巻市が申請により減免対象とし、盛岡市、一関市で対象者を限定して実施する予定となっている。当市においても他市の状況を踏まえ、事業実施に向けた検討を進める。



ピロリ菌（顕微鏡写真）



えさしクリーンパークのプール

質問 江刺区内の4診療所の利用状況及び施設整備について伺う。

市長 高齢者の受診が大半であり、患者数は前年度比ではほぼ横ばいである。建物全体の老朽化による損害や薬剤管理を含めた医療設備環境が十分でない状況である。限られた医療資源を有効に活用しなければならず、各施設の大規模改修や移転には多額の費用が生じてしまうのでむずかしい。

質問 診療を担当している民間病院では、今後移動診療車の導入が現実的と考えているようだが、市長の見解は。

市長 いくつかある代替案の中で、有力な選択肢のひとつである。委託先の病院や関係機関と十分協議し、できるだけ早く、代替案の構築に務めたい。

江刺のプール無くさないで

質問 市内にはプールがいくつかある。

江刺区内の4診療所は存続をすべき

公の施設の見直しの対象に入っているが、今後の見直しについて伺う。

市長 耐用年数が経過したなら、廃止に向け、内部協議後、理解していただくよう説明していく。

質問 えさしクリーンパークのプールの存続について、今後の見直しは。

市長 いわてクリーンセンターの焼却業務の終わる平成27年度末閉鎖予定であったが、岩手県クリーンいわて事業団との協議で、平成33年度末までの営業存続が決まった。

質問 プール利用者からは「健康維持のため、利用している。江刺唯一のプールを無くさないでほしい。」「子ども水泳教室を開催している。水泳することにより、子どもたちがスポーツに親しむきっかけになっているので、プールを続けてほしい」などの意見が出ている。市長は市民の声に耳を傾けるべきでは。

市長 方針は進めていく。市民の声に応えるべく、しっかり検討していく。



ちば 千葉 敦 議員（日本共産党）